



一般財団法人 地域創造

Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造の事業のご紹介

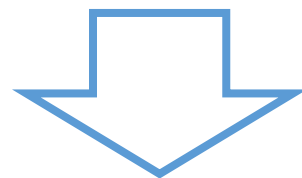
一般財団法人 地域創造

シンボルマークの形には、地域の人びとと創造力の源であるアーツ（Arts）とが出会い、時と場所を越え紡ぎあい、個性的な顔の「地域」が誕生することが表わされています。色彩は、日本古来の真朱（しんしゅ）を用いて、地域の記憶・遺産を未来の創造に繋ぐ大切さも表現されています。

（デザイン：近藤一弥）

地域創造とは

- 文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを目的として、全国知事会、全国市長会、全国町村会等が発起人となって、地方公共団体の共同組織として平成6年（1994年）に設立
- 地域における文化・芸術活動を担う人材の育成や、公立文化施設の活性化など、地方公共団体との緊密な連携の下に、地域における創造的な文化・芸術活動のための環境づくり等を行うとともに、地方公共団体を実施するこれらの活動等を支援します



地域住民が良質な文化・芸術を創造し、享受することができるようなゆとりと潤いに満ちた健やかな地域社会の実現を目指します

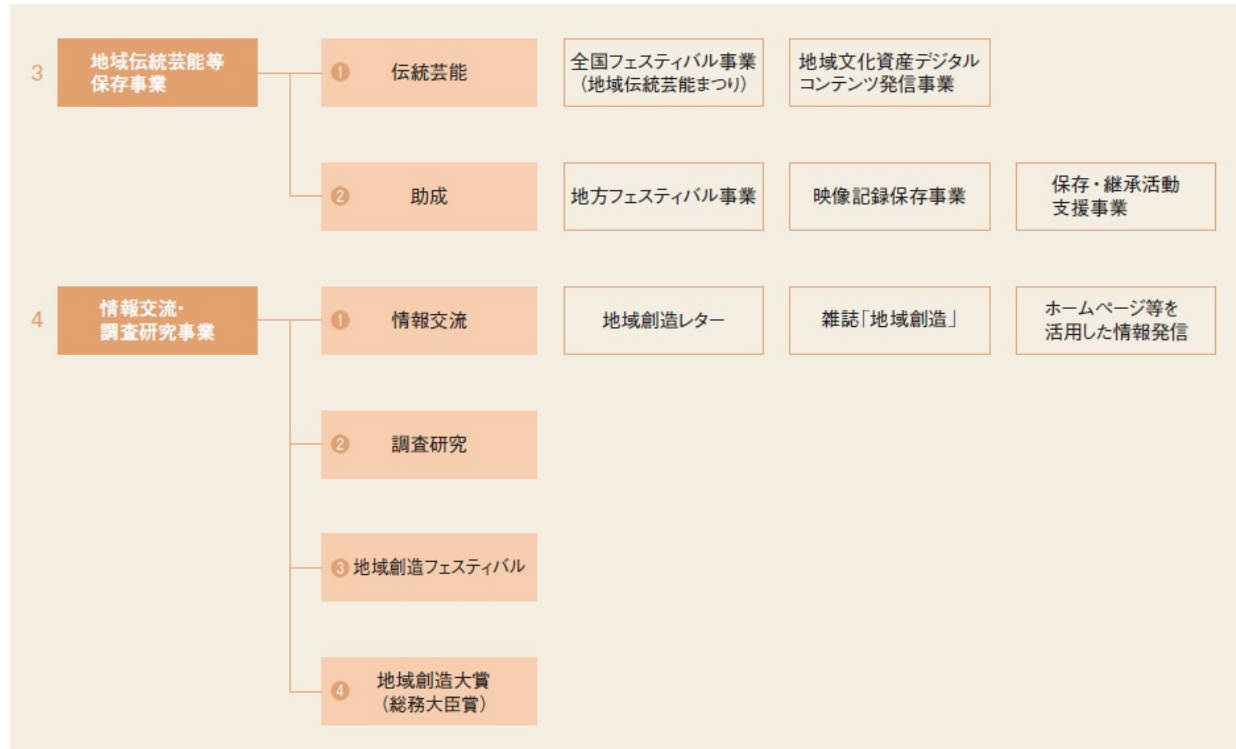


地域創造の事業の柱

○一般財団法人地域創造の事業



地域創造の事業の柱



研修交流事業 (1)

○ステージラボ

- ・ 公立文化施設等の職員を対象に、事業の企画制作、施設運営、地域との関わりなどホール、劇場等の運営に欠くことのできない要素を体得する4日間の短期集中型研修
- ・ 「ラボ（実験室）」の名のとおり、体験型プログラムやグループ討論など講師と参加者の双方向のコミュニケーションを重視。少人数ゼミ形式により実践的な内容に取り組む
- ・ 【入門コース】 【自主事業コース】 の2本立て（回によっては【公立ホール・劇場マネージャーコース】も実施）
- ・ 令和元年度は6月に富士見市（埼玉県）、2年2月にいわき市（福島県）で開催
- ・ 令和2年度は、オンラインセッションとして3年2月に実施
テーマ「地域に今なぜアートが必要か」
ワークショッププログラム（20名参加）と自由参加のシンポジウム（109名参加）
オンライン交流会を開催
- ・ 今年度は、令和4年2月に豊橋市（愛知県）で開催予定

富士見セッション（令和元年6月）



【入門コース】
企画発表&ディスカッション Let's Swing
(4日間のグループ討議の成果を発表)

いわきセッション（令和2年2月）



【自主事業（音楽）コース】
地域と芸術の融合：ゼロから1へ。芸術と遊ぶ
(谷川俊太郎「生きる」を題材にした創作WS)

オンラインセッション（令和3年2月）



オンラインでの打ち合わせ中の様子

研修交流事業 (2)

○リージョナルシアター

- ・プロの演出家を公共ホールに派遣し、演劇の手法を使ったワークショップを実施
- ・公共ホールの地域住民への浸透やスタッフの企画・制作能力の向上を図る
- ・短い芝居の創作体験等で参加者に演劇の魅力に触れてもらい、地域の課題解決や魅力の再発見等にもつなげる
- ・昨年度は福島県いわき市で実施（今年度は北海道大空町、福井県大野市、熊本県荒尾市、静岡県掛川市で実施、大阪府枚方市、福岡県久留米市、秋田県で実施予定）

○市町村長セミナー

- ・市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）及び全国市町村国際文化研修所（JIAM）との共催で市町村長等向けのセミナーを開催
- ・地域創造の枠では、文化・芸術を通じた地域づくりに関する講演等を実施するとともに、アーティストによるミニコンサート（模擬アウトリーチ）を実施し、直接芸術に触れる体験を提供

○地域創造セミナー

- ・文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくり及び芸術文化関係者の広域的な連携強化を目的として、都道府県主催の研修会に対し講師を派遣し費用を負担
- ・令和3年度は北海道、岩手県、千葉県、福井県で実施

大分県九重町（令和元年9,10月）



- ・小学校でのアウトリーチ。3枚の写真とそれぞれに配布される役割カード（名前・性格）から、想像をふくらませて、短い物語をつくる。

全国市町村国際文化研修所（令和3年10月）



- ・サクソフォン四重奏「クワチュール・ベー」によるミニコンサートの様子
- ・セミナー受講者をはじめ約30名の参加者が模擬アウトリーチを体験

北海道（令和3年11月）



- ・野村政之氏（長野県文化政策課文化振興コーディネーター）によるアーティスト・イン・レジデンスの事例紹介の様子



公共ホール等活性化支援事業（音楽、邦楽）

- ・地域創造がオーディション等により選考したアーティストと地域の公共ホールがアイデアを出し合い、クラシック音楽や邦楽を住民の方に届ける事業
- ・経験豊富なコーディネーターを派遣し、公共ホール等の企画・制作能力の向上に寄与
- ・事業の実施を通じて、公共ホール等と地域とのネットワークづくりのきっかけに

○クラシック音楽（おんかつ）

- ・アウトリーチとホール公演で構成
- ・アウトリーチは、学校、福祉施設など地域の要望に応じ選定が可能
- ・「導入プログラム」は、地域創造が実施団体と共催し経費を負担
- ・その後継続する場合、「支援プログラム」として最長5年間助成
- ・今年度、導入12団体、支援25団体が実施予定

山梨県北杜市（令和3年12月）齊藤一也



小学校でのアウトリーチ



八ヶ岳やまびこホールでのコンサート

○邦楽

- ・アウトリーチとホールプログラムで構成
- ・ホールプログラムは、公演または楽器体験などのワークショップを選択することが可能
- ・地域創造が実施団体と共催し経費を負担
- ・昨年度3団体で実施、今年度4団体で実施予定

三重県伊賀市（令和3年11月）麻植理恵子、川崎貴久、小林鈴純



小学校でのアウトリーチ



あやま文化センターでのコンサート



公共ホール等活性化支援事業（現代ダンス）

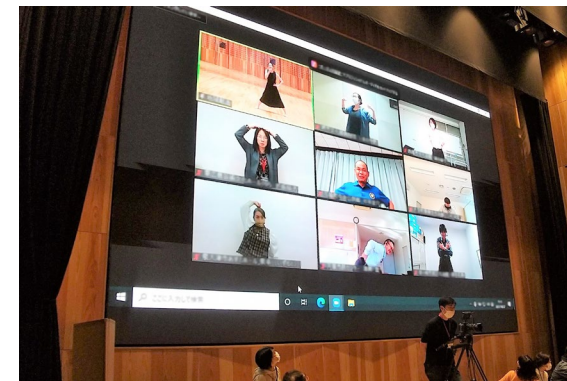
- ・現代ダンスのアーティストが地域を訪れ、アウトリーチとホールでの公演を実施
- ・以下の3つのプログラムを順次選択し、3年間ですべてを実施
 - A 地域交流プログラム
 - B 市民参加作品創作プログラム
 - C 公演プログラム令和4年度は11団体が実施予定
- ・その後継続して実施する場合は、支援プログラムとして地域創造が助成
令和4年度は4団体に助成予定
- ・事業実施の前年10月に準備のための全体研修会を開催
アーティストの実演を見学し、コーディネーターの助言の下で企画を検討
- ・昨年の全体研修会は、オンライン方式により実施

愛知県豊橋市（令和3年7,11月）田村一行



穂の国とよはし芸術劇場PLATでの市民参加公演『舞踏 豊橋妖怪百物語』
(B：市民参加作品創作プログラムでの創作及び公演の様子)

令和4年度公共ホール現代ダンス活性化事業全体研修会
東京都豊島区（令和3年10月）



としま区民センターでの研修会の様子

公共ホール等活性化支援事業（公立美術館の支援）

- ・公立美術館による共同巡回展を支援し、美術館同士の連携や収蔵作品の利活用を促進
- ・共同巡回展にアドバイザーを派遣し、市町村立美術館の学芸員の企画制作能力向上に寄与

令和2・3年度市町村立美術館活性化事業



令和3年度第21回共同巡回展 板橋区立美術館・豊島区所蔵「池袋モンパルナス—画家たちの交差点」を開催

参加館：しもだて美術館、瀬戸市美術館、酒田市美術館

令和2・3年度 公立美術館地域展開型研修事業
（美術館出前（オーダーメイド）型ゼミ）



令和3年度は宮城県にある塩竈市杉村惇美術館にて2回のゼミを開催

◎第1回研修会（6月10日）

「美術館と観光・インバウンド／文化観光拠点化ウォークイン型（予約なし）体験プログラムの開発」講師：小野寺志乃（FabLab SENDAI-FLAT）

◎第2回研修会（10月16日）

「文化施設と他の行政分野との連携」講師：柳沢秀行（大原美術館 学芸統括）

- ①市町村立美術館活性化事業
- ②公立美術館共同巡回展 開催助成事業
- ③公立美術館共同巡回展 企画支援事業
- ④公立美術館共同地域交流プログラム助成事業
- ⑤公立美術館地域展開型研修事業

公共ホール等活性化支援事業（地域の文化・芸術活動助成事業）

- ・ 全国の地方公共団体等が地域において主体的に取り組む事業に対し助成

〔創造プログラム〕 長期的展望をもった創造事業については最長3年にわたり助成

〔連携プログラム〕 複数の地方公共団体等が連携して取り組むネットワーク事業に助成

〔研修プログラム〕 公立文化施設職員や地域文化コーディネーター等の人材育成に助成

〔活性化計画プログラム〕 公立文化施設の政策評価や運営改善のための計画策定に助成

【創造プログラム】



©M. Hioki

静岡県文化プログラム SPAC 『忠臣蔵2021』
（公財）静岡県舞台芸術センター（令和3年6月）

【連携プログラム】



©権原一久（アクロス福岡提供）

「251年目のベートーヴェン」（福岡シンフォニーホール）
（公財）鳥取県文化振興財団（令和3年7月）／
（公財）アクロス福岡（令和3年7月）／
（公財）熊本県立劇場（令和3年7月）



情報交流・調査研究事業

○情報発信・情報提供

- ・ 広報誌「地域創造レター」を毎月発行
- ・ 雑誌「地域創造」を年1回刊行
今年度は、「レジデンス再考」、「よりよく生きる」を特集
- ・ ホームページやフェイスブックによる情報提供

○調査研究

- ・ 「地域の公立文化施設実態調査」（5年に一度の悉皆調査を実施）
- ・ 時々のニーズに合ったテーマについての調査研究
これまで指定管理者制度やアウトリーチ事業のあり方等を調査
今年度は、地域と文化芸術をつなげる劇場・ホールのコーディネーターの事例調査を予定
- ・ 各調査の結果は地方公共団体、公共ホール等にフィードバック

○地域創造フェスティバル

- ・ 例年夏に地域創造の紹介を兼ね、登録アーティストによるクラシック音楽や現代ダンスの実演プレゼンテーションを披露
- ・ 文化芸術政策や公立文化施設における直近の課題などをテーマとしたシンポジウムも同時開催
- ・ あわせて全国都道府県・政令市文化行政担当課長会議を開催
- ・ 今年度は規模を縮小し、音楽プレゼンテーションを中心に5月25～26日開催



地域創造大賞（総務大臣賞）

- 地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰。令和3年度で18回目の表彰。

①



②



③



④



令和3年度は次の4施設が受賞

①調布市せんがわ劇場【東京都調布市】

③東海市芸術劇場【愛知県東海市】

②茅ヶ崎市美術館【神奈川県茅ヶ崎市】

④滋賀県立文化産業交流会館【滋賀県】



地域の伝統芸能等の保存

- ・地域の伝統文化等の保存・継承を支援するとともに、郷土に対する親しみと誇りを持ち地域づくりに取り組む機運を全国的に盛り上げ

第19回地域伝統芸能まつり（令和元年2月24日開催）



花輪ばやし（秋田県鹿角市）



長崎くんち龍踊（長崎県長崎市）

※このほか、

- ・地方公共団体等が公立文化施設で実施する公演等の支援
（地方フェスティバル事業）
- ・失われつつあり、記録に残されていない各地の伝統芸能等の映像化支援
（映像記録保存事業）
- ・映像記録をデジタルコンテンツ化し、これを集約しインターネットで発信する
「地域文化資産ポータル」
構築・運用等を実施

第22回「地域伝統芸能まつり」令和4年2月開催予定

中止

- ・テーマ「翔 ～時を超えて、翔けるころ～」
- ・会場：府中の森芸術劇場⇒後日NHKで全国放送予定
- ・日本各地の地域伝統芸能8演目と古典芸能(狂言)1演目を披露

◎演目

地域伝統芸能：なまはげ太鼓（秋田県男鹿市）、今寺の面浮立（佐賀県嬉野市）
行山流舞川鹿子踊（岩手県一関市）、淀江さんこ節（鳥取県米子市）
新城の囃子曲持（神奈川県川崎市）、比婆荒神神楽（広島県庄原市）
尾花沢花笠踊り（山形県尾花沢市）、エイサー（沖縄県沖縄市）

古典芸能：狂言「雷」出演：野村又三郎 他



地域文化資産
REGIONAL CULTURAL ASSET



地域創造の事業における新型コロナウイルス感染防止の取組み

- 事業を実施される団体のご意向を極力尊重し、事業を実施する現場では
感染防止に最大限留意

【取組みの具体例】

- ・ 事業の実施に当たっては、それぞれの地域の事情を踏まえて柔軟に対応(時期や会場の変更、オンライン方式による開催など)
- ・ 音楽のアウトリーチでは、人と人の間隔の確保、飛沫飛散防止対策などを講じるとともに、アーティストが注意すべきポイント（接触を伴ったり、小道具等を使い回すような演出は避けることなど）を整理し徹底
- ・ アーティスト、コーディネーター、同行する役職員は、必要に応じてPCR検査を受けたうえで地域に赴き、事業を実施
- ・ やむを得ず事業を中止せざるを得ない場合でも、中止の判断までに要した経費は、原則として地域創造が負担




地域創造へのアクセス等

ホームページ：<https://www.jafra.or.jp/>

事業ごとの担当者もHPに掲載：

<https://www.jafra.or.jp/about/inquiry.html>

facebook： 公式 facebook：[facebook.com/RegionalArtActivities](https://www.facebook.com/RegionalArtActivities)



【所在地】

〒107-0052

東京都港区赤坂2-9-11

オリックス赤坂2丁目ビル9F

(東京メトロ溜池山王駅11番出口直結)

代表TEL 03-5573-4050

【交通アクセス】

- 東京メトロ（地下鉄）銀座線 溜池山王駅 徒歩1分
- 東京メトロ（地下鉄）南北線 溜池山王駅 徒歩2分
- 東京メトロ（地下鉄）千代田線 赤坂駅2番出口 徒歩6分

